

## 事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表

平成29年度実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			広さが違う部屋を利用人数や利用する児童の体調に合わせて使い分けている。
	②	職員配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			エレベーターは、設置していない。階段には手すりが付いている。部屋の入口は車いすが入る。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々の振り返りを大切にし、常に業務改善を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の移行等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者へアンケートを配布し、意向の把握と改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページなどで公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	平成30年度より実施予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修、事業所外研修を行っている。
適切な支援提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	○			利用開始前に個別面談を行い、子どもの状況・保護者のニーズを把握し計画につなげている。半年に1回アセスメントを行い、日々のケース記録に基づいて、職員全員で利用者の状況を協議している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントツールを利用し、その都度、利用者の状況把握に努めている。

	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		活動プログラムの立案は職員全体で行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節行事を取り入れながら色々な経験ができるよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日は個別活動を取り入れ、長期休暇は社会体験など集団で楽しめる活動取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	○		児童の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		随時、打ち合わせが出来ている。職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点などを共有しているか	○		一人ひとりの振り返りは記述し、職員で共有できるようにしている。翌日の支援開始前に前日の支援の振り返りを設ける時間も多い。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		気付いた点、その日の体調、生活状況の変化等も記録している。記録に残し、振り返って検証することにも努めている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、支援の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的モニタリングを実施し、児童の状況把握を行い、保護者の同意を得て、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドラインに沿って、個別支援計画を作成し、運営している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、担当者も出席し、情報を共有できるよう努めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		行事や集団登校などの活動が難しい児童などは、特に学校との情報共有を行い、調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要や子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	今は、対象児童がいない。同法人に協力医療機関があるため、常に連絡を取れる体制を整えている。対象児童を受け入れる際は、かかりつけ医からの情報提供をお願いしている。

	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			利用にあたり、積極的に情報共有を行っている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○		事業所から提供が求められた場合、保護者や本人の同意の元、適宜提供を行っている。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			地域のスキルアップ研修や他の研修での交流や情報提供に努めている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		同法人内の担当職員が参加し、情報共有に努めている。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に情報の共有と共通理解に努めている。必要に応じて、相談の時間を設けたり電話連絡をしたりしている。
	㉖	保護者の対応力の向上を計る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者の状況を考慮し、家庭で出来る方法など伝達をしている。法人として保護者や支援者向けの講演会を定期的に行っており、その参加を促している。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っている。保護者との面談の時間にも改めて説明している。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的な面談以外にも、随時、保護者からの相談を受けている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会は行っていない。保護者からは先輩保護者の話を聞きたいという声があがっているので、検討していく。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口を設置するとともに、公共の窓口や市町の相談窓口を重要事項説明書および掲示にて周知している。相談や苦情には内容に応じて適任者が迅速に対応している。

	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月予約表に活動内容や案内を記載し、情報を発信している。法人の会報にも事業所のコーナーを作り、情報を記載している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			守秘義務の遵守に努めている。会報などに写真を掲載する場合は、保護者の許可のもと、加工して使用している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもの特性を理解した上で配慮している。保護者には視覚支援などの例を伝えるなどして、家庭での支援に役立てて頂くよう努めている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時などの対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定し、周知している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練（火災、地震、水害を想定したもの）を定期的実施している。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を行い、職員にアンケートを実施するなど、虐待防止の徹底に努めている。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス支援計画に記載しているか			○	該当児童なし。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	給食やおやつ提供はしていない。調理実習などに参加される場合は、事前にアレルギーの有無を確認し、アレルギーが含まれる食材は使用しないようにしている。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	